

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.38)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う環境変化への対応として、2022年6月～7月における東アジア路線(ソウル線を除く)の路線便数計画(*1)、および、一部東南アジア路線の追加増便を決定しました。

JALでは、日本入国時に日本政府が提供する検疫ファストトラック(*2)をご利用いただくことを推奨しております。事前に、アプリ「MySOS」をインストールいただき、アプリ上の審査画面が緑色であることを確認できた方についてはファストトラックがご利用可能となり、日本到着時のお手続きをよりスムーズに完了させることができます。

JALは今後も、全てのお客さまに安全・安心な空の旅を提供してまいります。

(*1)台湾線は6月1日～30日が対象となります。6月における欧州・ソウル路線、7月における欧州・メルボルン・台北・ソウル・グアムの計画は調整中のため別途ご案内します。

(*2)検疫ファストトラック利用方法について：<https://www.hco.mhlw.go.jp/fasttrack/>

【主なトピックス】 ※=は往復、-は片道を表します。

1. 香港線を増便し、期間中においては羽田・成田発着合わせて往路週4便・復路週2便から往復週10便運航へと増便します。
2. 成田=クアラルンプール・ジャカルタ線および羽田=マニラ線を増便します。これによりクアラルンプール線は7月から毎日運航とします。

<路線便数計画について>

■ 2022年6月の路線便数計画(本日まで未発表の欧州・ソウル路線を除く)

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
52	52	4,020	2,430	60%

■ 2022年7月の路線便数計画(本日まで未発表の欧州・メルボルン・台北・ソウル・グアム路線を除く)

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
45	45	3,534	1,843	52%

※上記減便率は2020年度事業計画比です。なお、上記のスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としています。

<方面、都市について>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※路線便数詳細は別添資料をご参照ください。今後の最新情報についてはJAL Web サイト

(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter>)をご参照ください。